

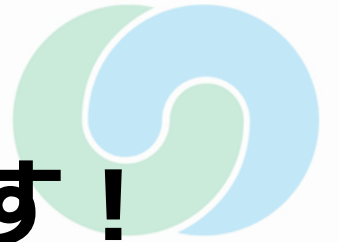
## つくば市記者会 御中

発信日：平成31年(2019年)4月19日(金)

発信元：つくば市政策イノベーション部科学技術振興課

■取材依頼 ■周知依頼 □募集告知 □その他

# 自動運転による 電動車いすの公道走行を実施します！



平成30年(2018年)8月に採択された近未来技術等社会実装事業(内閣府)で、「自動運転移動支援ロボット」プロジェクトを推進するつくば市は、産業技術総合研究所とスズキ株式会社の協力のもと、平成31年(2019年)4月22日(月)に下記のとおり、研究学園駅北側ロータリー周辺において、自動運転による電動車いすの公道走行を実施します。

### 1 実施内容

日時：平成31年(2019年)4月22日(月)午前11時から

場所：つくばエクスプレス研究学園駅

北側ロータリー周辺

走行機種：自動運転機能付きセニアカーET4D(実証機)

※産業技術総合研究所とスズキ株式会社

が共同開発したテスト用の実証機によるものです。

※電動車いすは、道路交通法上の

原動機を用いる身体障害者用の車いす

に位置付けられます。

内容：つくば市長(五十嵐立青)が電動車いすに搭乗し、自動運転で研究学園駅北側ロータリー周辺を走行します。



セニアカーET4D, スズキ(株)

### 2 取材について

取材希望の方は、下記問合せ先まで御連絡ください。

#### 【参考】近未来技術等社会実装事業とは

AI、IoTや自動運転といった近未来技術や科学技術研究の成果等、最新の知見等を活用し、産業の生産性向上や、公共交通の維持・改善等、様々な課題を解決し、地方創生に繋げていくために、内閣府が実施する支援事業のこと。

つくば市は、自動走行・農業・医療・防災の4分野に関する、高齢社会の課題を解決する近未来技術(Society5.0)の社会実装事業を茨城県と共同提案し、昨年8月に採択されました。